

## 基肥一回無追肥によるピーマンの減肥栽培

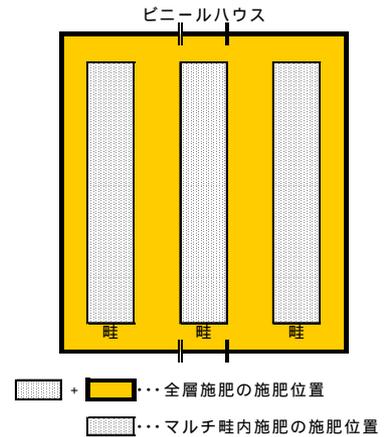
ハウスピーマン栽培において、肥効調節型肥料のマルチ畦内施肥、もしくは初期溶出抑制肥効調節型肥料の育苗時全量ポット内施肥により追肥を省略できる。いずれも慣行施肥体系と比べ約3割窒素減肥しても、同程度の収量を確保できる。これらの技術は、エコファーマー認定の際に、持続性の高い農業生産技術として利用できる。

### マルチ畦内施肥

肥効調節型肥料(被覆硝酸系NK化成180日タイプ)と速効性肥料を窒素成分比で、**8:2**で組み合わせたものを使用する。

施肥量は窒素成分で速効性肥料を用いた追肥体系(全面全層施肥)の基肥窒素量と追肥窒素量の合量の**約7割程度**を施用する。

施肥位置：マルチ畦内(通路を除いた畦の部分のみ)に施肥する。

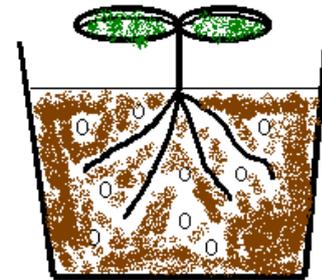


### 育苗時全量ポット内施肥

初期溶出抑制肥効調節型肥料(被覆燐硝安加里または被覆硝酸系NK化成180日タイプ)を使用する。

施肥量は窒素成分で速効性肥料を用いた追肥体系の基肥窒素量と追肥窒素量の合量の**約7割程度**を施用する。

施肥位置：セル苗をポットに鉢上げする際、肥料を培土と混和しポット内に全量施肥する。



は肥効調節型肥料

両施肥法とも収穫後半に収量が低下した場合は、追肥対応も考慮する。

### 試験区及び供試肥料

試験区	供試肥料		現物施肥量 (g/ポット)	備考
	基肥	追肥		
慣行	果菜専用肥料	野菜追肥S535	-	追肥間隔約14日。回数10回。N施肥量2kg/10a/回。
畦内施肥	野菜ロング3号	-	-	速効率20%，緩効率80% (被覆硝酸系NK化成180日タイプ)
ポット施肥	スーパ-ロング424	-	134	被覆燐硝安加里180日タイプ (溶出抑制期間45日)
ポット施肥	スーパ-NKロング203	-	94	被覆硝酸系NK化成180日タイプ (溶出抑制期間45日)

### 時期別収量の推移

試験区	時期別収量						総収量
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
慣行	23 (100)	131 (100)	171 (100)	229 (100)	242 (100)	236 (100)	1032 (100)
畦内施肥	25 (109)	120 (92)	161 (95)	232 (101)	227 (94)	219 (92)	984 (95)
ポット施肥	26 (114)	135 (103)	167 (98)	226 (99)	227 (94)	225 (95)	1006 (97)
ポット施肥	28 (125)	137 (104)	148 (87)	228 (100)	231 (96)	209 (88)	982 (95)

注、( )は慣行区対比

4月中旬定植作型での試験。畦内施肥、ポット施肥は無追肥で慣行並の収量が得られた。